

今年の反省点を把握しましょう

～今年の格落ち理由から、次年度の対策を～

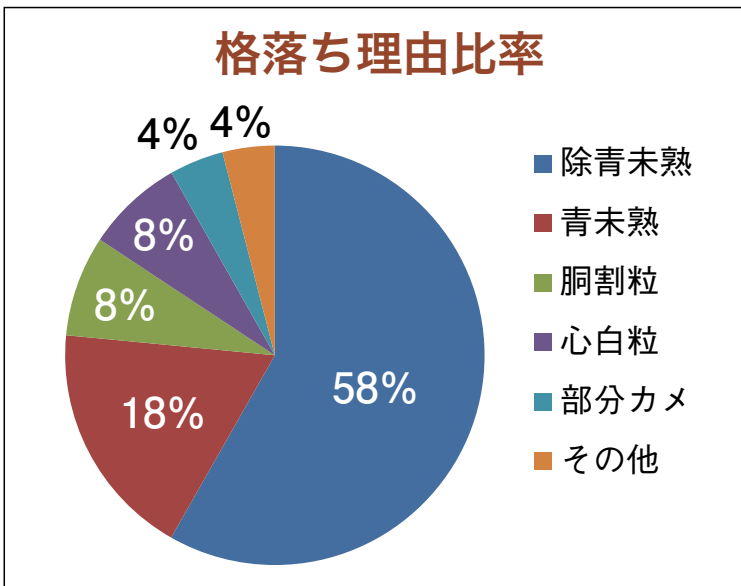
今年は出穂後、高温にあたり高温障害を起こす稲や、登熟期に低温に晒されなかなか登熟（黄化）が進まないなど、悪天候に悩まされた年であったと思います。

今年の格落ち理由から、実際どのような原因があったのか把握し、対策を講じ、次年度以降の良食味、高品質米生産につなげましょう。

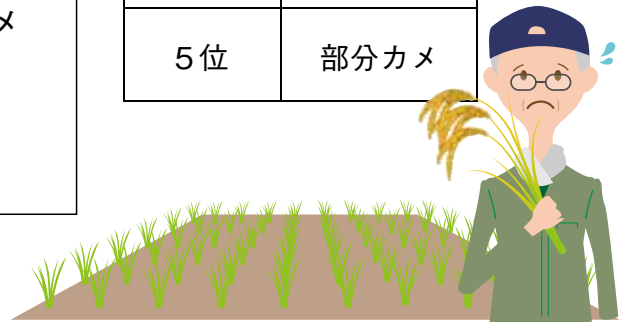
平成27年度コシヒカリ1等米比率（10/30現在）

地区	川口	堀之内	小出	湯之谷	藪神	広瀬	守門	入広瀬
1等比率	92.3%	92.0%	83.8%	91.9%	94.4%	88.4%	86.9%	80.5%

平成27年度コシヒカリ格落ちワースト5（10/27現在）



1位	除青未熟
2位	青未熟
3位	胴割粒
4位	心白粒
5位	部分カメ



格落ち理由発生の原因

除青未熟・・・日照不足等で登熟不良になり、青未熟以外の未熟で基準の整粒歩合にとどかないもの

青未熟・・・登熟不良や早刈りにより、青い未熟な粒が混入する

胴割粒・・・刈り遅れや急激な乾燥により、指で軽く押しただけで割ってしまうヒビ付粒が混入

格落ちの主な原因は登熟期後半の日照不足、低温の影響が考えられます！

天候に左右されない米づくりのために、基本技術の励行を確認しましょう！

土づくりの実施

適期田植え

遅れずしっかり中干し

ほ場・天候に合わせた水管理

適期適量穂肥え散布

適期収穫